

各県部会の開催状況報告

- 令和5年10月20日に新潟県部会を開催し、新潟県内における令和5年度の取り組み状況について情報共有を行い、その展開について意見交換を行った。
- 冒頭、新潟労働局からの新潟県内の建設業に係る雇用情勢や、新規卒者の離職状況などの情報提供をはじめとして、新4KやDXに関する話題提供の後、各部会員による担い手確保の取り組みを共有。その上で、各種取り組みの効果検証のあり方や広報に関する意見交換を行った。

開催概要

【新潟県部会】 令和5年10月20日（金）13:30～15:30

- ・〔会場〕 北陸地方整備局 4F共用会議室（Web併用にて実施）
- ・〔出席機関〕

〔建設産業〕 日建連北陸支部、新潟県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、
新潟県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部、
日本造園建設業協会新潟県支部、北陸建設アカデミー（オブザーバー）

〔教育〕 新潟大学、長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、新潟工業高校、新発田南高校

〔行政〕 北陸地整、信濃川河川事務所、新潟国道事務所、北陸技術事務所、新潟労働局、
新潟県土木部、新潟県教育委員会、新潟市

検討結果

- ・各部会員より、従来からの工業系の学校に対する取り組みの継続に加え、小中学生や保護者、土木・建築系以外の高校へのアプローチなど、様々な取組が報告され共有した。
- ・担い手確保に係る取り組みについては、現場見学会、出前講座、説明会や若手技術者との交流などに参加してもらうことで、建設業の魅力や役割を知る導入部として興味や関心をもってもらい一定の効果がある一方で、定量的な効果検証については引き続き課題であるとしてた。また、即効性のある取り組みはなく活動を継続することが重要とされた。

主な意見等

- ・インターンシップ参加者等のうち、建設業に就業しなかった方の理由を分析することが重要であるが、これらをどのように調査・把握するかが課題である。
- ・今後の取組方針として、土木の現場でしか味わえない動画の発信（トンネル貫通瞬間等）やバーチャル見学会、体験型イベントなどに加え、建設業の働き方改革などをPRすると良いのではないかと。
- ・優秀な人材が地域の建設業で活躍し、地域の将来の発展に貢献してもらうことは教育機関としても望ましいことであるため、相互に協力できる部分は協議していくと良い。



- 令和5年11月1日、産学官からなる会員のうち20機関の出席のもと富山県部会を開催。
- 労働局から県内建設業における雇用情勢の最新状況の説明のほか、担い手確保に係る“新4K”の取り組み等の話題提供を行い、認識を共有するとともに、今年度の活動報告、今後の取り組み方針について意見交換を行った。

開催概要

- ・日 時 令和5年11月1日(水) 14:00～15:30
- ・会 場 富山河川国道事務所大会議室
- ・出席機関
[建設産業] 日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設コンサルタンツ協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会、日本造園建設業協会
- [教育機関] 富山大学、富山県立大学、富山工業高等学校、桜井高等学校、高岡工芸高等学校、南砺福野高等学校
- [行 政] 富山河川国道事務所、黒部河川事務所、立山砂防工事事務所、利賀ダム工事事務所、富山労働局、富山県土木部、富山県教育委員会

意見交換等での発言要旨

- 事務局提案の「建設業の役割と魅力パンフレット(案)」への意見として、若者が都会に流出していく現状を踏まえ、北陸で働く“楽しさ”や“魅力”という視点をもっとアピールしてはどうか。(ex:生まれ育った地元で働ける、自然が近く充実した休日が過ごせる)
- また、北陸の特性である雪について、特に、住民ニーズの高い除雪の仕事のことを重要性として表現してはどうか。
- 職業選択に際し、学生よりもその保護者をターゲットにした見学会等が有効と思われる、アテンドも若手職員が行う方が効果的である。
- 新卒より中途採用の人材の方が現場では即戦力となることから、中途採用者を対象とした活動を行ってみたいはどうか。

開催状況



- 令和5年11月13日、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会【石川県部会】」を開催し、県内の労働力需給状況の説明や現場見学会、出前講座等の実施報告を行い、それらを踏まえた今後の活動方針等に関して意見交換を行いました。
- 実施報告では、ICT建設機械を活用した現場見学会や親子見学会、児童向け教室等、幅広い取り組みが数多く紹介されました。
- また、石川労働局と石川県建設業協会との間での協定締結によるセミナー、ガイダンスの開催など、官学民が連携した取り組みも多く実施されていました。

開催概要

- 日 時 令和5年11月13日（月）10:30～12:00
- 開催場所 金沢河川国道事務所 会議室
- 出席機関 [行 政] 金沢河川国道事務所、石川労働局、
石川県土木部、石川県教育委員会
[建設産業] 日建連北陸支部、石川県建設業協会、
道建協北陸支部、石川県測量設計業協会、
石川県地質調査業協会、
日本造園建設業協会石川県支部
[教育機関] 金沢大学、金沢工業大学、県立小松工高、
県立羽咋工高、県立翠星高校

意見交換での発言要旨

- 有効求人倍率や離職率など、県内の建設業の就業状況は依然として厳しい状況。
- ICT施工現場見学会やけんせつフェアの参加により、建設業のイメージが一新されていることから、このような取組を継続すべき。
- 普通科高校出身者の就業が多いことと、離職率が高いことに関連性があるとする入社後の教育方針を再検討すべきかもしれない。

